

報道関係者各位

2021年2月4日  
公益財団法人日本デザイン振興会

## グッドデザイン賞特別プロジェクトによる最新の提言を発表 「フォーカス・イシュー」で解き明かすデザインのいま 世界的なパンデミックにより変革期を迎えた現代のデザインの在り方を考察

公益財団法人日本デザイン振興会(会長：川上元美、所在地：東京都港区)は、主催事業であるグッドデザイン賞の特別プロジェクト「フォーカス・イシュー」の今年度提言を公式ウェブサイト上で、2月4日(木)に発表しました。



各分野の最新デザインを、各界の一線で活躍するクリエイターが独自の視点で読み解き、クリエイターならではの言葉を通じて、その価値を社会へ伝えるのがフォーカス・イシューです。

このような取り組みはデザイン分野では珍しいもので、日本はもとより近年はアジア圏においても、日本のデザインの最新傾向や潮流、これからのデザインの在り方を示すものとして、注目が集まっています。

今年度は、内田友紀、川西康之、原田祐馬、ムラカミカイエ、山阪佳彦の5氏がディレクターを務め、「変化の時代にデザインができること」を全体のテーマとして、世界的なパンデミックにより変革期を迎えた現代のデザインの在り方について、各自の専門分野より関心のある事項について個々のイシューを定め、考察しました。

また、提言では、具体的に2020年度グッドデザイン賞受賞作を例に挙げ、コロナ禍・地方創生・環境問題などの現代日本社会が抱える課題について、これからの解決策を模索する上でのヒントを多数提案しています。

### 今年度ディレクターと提言タイトル



内田 友紀

一人ひとりの声が集まり、行動の連なりで社会が変わる。民主主義の実践としての次世代デザイン

#テクノロジー  
#民主主義



川西 康之

デザインも立法や行政に関わりを。知恵と工夫を共有するいくつかのヒント

#モビリティ  
#地方創生



原田 祐馬

見えることで想像し直す、見えないことで想像する人間の力

#多様性  
#セーフティネット



ムラカミ カイエ

「難しい」を「楽しい」に。環境問題解決に全員で参加する

#環境問題  
#SDGs



山阪 佳彦

新たな社会へとつながっている2つの道

#循環型経済  
#プラットフォーム

#は提言で言及しているキーワード

## 【今年度ディレクター／提言タイトル】

内田 友紀 都市デザイナー  
株式会社リ・パブリック

提言タイトル：  
一人ひとりの声が集まり、行動の連なりで社会が変わる。民主主義の実践としての次世代デザイン

川西 康之 建築家/デザイナー/ファシリテーター  
株式会社イチバンセン 一級建築士事務所 代表取締役

提言タイトル：  
デザインも立法や行政に関わりを。知恵と工夫を共有するいくつかのヒント

原田 祐馬 アートディレクター / デザイナー  
UMA / design farm 代表

提言タイトル：  
見えることで想像し直す、見えないことで想像する人間の力

ムラカミ カイエ デザイナー / クリエイティブディレクター  
SIMONE 代表

提言タイトル：  
「難しい」を「楽しい」に。環境問題解決に全員で参加する

山阪 佳彦 クリエイティブディレクター  
株式会社マック 東京本部  
専務取締役

提言タイトル：  
新たな社会へとつながっている2つの道

## 【提言でピックアップしている受賞事例とコメント】

### 東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト



このプロジェクトを成り立たせているのは、国内外にいる多くの市民たち。一企業や一人のスーパーマンが実現するのではなく、その向こう側の多くの人にスポットを当て、それぞれができる範囲で関与する。たくさんの方の仕事を居場所をつくり、関係者全員が関わったことに誇りを感じる丁寧な設計が際立ちました。

### 遠洋まぐろ延縄漁船 [第一昭福丸]



人手不足と高齢化に悩むマグロ漁船を、働きやすく心地よく居住しやすい、漁業の分野で働くことに誇りを持ってもらえるようにデザインしています。若い人が入ってきても、ベテランの高齢者との間に代代的な距離が生じて、コミュニティーも失われつつある。そんな状況の中、デザインができることを実践的に示したという点で私はこの作品を高く評価したいと思います。

### Webサービス [さきめし]



新型コロナウイルスの流行で苦境に立たされた飲食業を、先払いによって支援する取り組み。レストランも居酒屋も、食事をするだけの場ではなく、改めてそれぞれの居場所の一つだったことがこの取り組みでは、可視化されているように思います。既存のプラットフォームを生かしつつ、状況に合わせたサービスとして再構築する意思を感じました。

### Shopping Platform [LOOP]



いまアパレル産業はファストファッションの台頭によって、大量生産消費社会における象徴的な環境汚染産業となりつつあります。その持続可能化を目指す動きがある中で、使用済み製品やパッケージのリユースを前提にした循環インフラをつくり上げた「LOOP」は、自分がデザイナー側の当事者として現場で感じてきた課題を根本的に解決すると同時に、新たな創造性を呼び起こしてくれるものでした。

### サーキュラーエコノミー [BRING]



コンシューマーや流通を巻き込んで、服から服をつくる循環をデザインした今日的な素晴らしい取り組み。ここで注目したいのは、社会的意義への共感を要するCSR（企業の社会的責任）活動の文脈ではなく、衣料のリサイクルを販売促進と位置付けた点。それがブレイクスルーにつながった要因だと思います。「いますぐにでも行動してもらわなければ」という意思のあるデザインだと感じました。

## フォーカス・イシューとは？

グッドデザイン賞受賞作品を題材として、デザインにおける社会課題解決を探る取り組み。グッドデザイン賞審査委員がディレクターとなり、専門的な視点から、その年の受賞作品を通して見えてくる、社会におけるデザインの役割や意義について読み解きを進め、最終的に提言として発表。2015年度より開始し、今年度までに原研哉氏やドミニク・チェン氏などをはじめとする38人のディレクターが、45の提言を発表しています。

## 特設ウェブサイトで提言を公開中

フォーカス・イシューウェブサイト <https://archive.g-mark.org/focused-issues/>

2020年10月にオープン。これまでの提言を年度別・テーマ別・ディレクター別に体系化して見られるようにまとめ、グッドデザイン賞およびデザインに関する言説のアーカイブとして整備しました。

参考／グッドデザイン賞について



1957年に開始された日本を代表するデザイン賞。商品をはじめ建築、各種のアプリケーションやソフトウェア、デザインを活用したプロジェクトや取り組みなど、生活環境を構成する有形無形のさまざまな対象に贈られる。「社会を前進させるデザイン」という考え方の下、受賞デザインに関する展示や出版、各種イベントなどの多彩なプロモーションを展開することで、受賞デザインの価値向上に加え、社会へのデザインの普及を促し、デザインの可能性を高めることに一貫して貢献している。日本国内において、グッドデザイン賞は83.6%、シンボルマークの「Gマーク」は81.0%の認知率を持ち、広く親しまれている。これまでの累計受賞数は50,000件以上。

※2020年2月インターネット調査による。

## 参考資料：歴代フォーカス・イシューディレクターと提言タイトル

発表年度	提言タイトル	担当ディレクター
2015年度	変わる産業とデザイン “ひとつのアイデアが世界を変える”だれもがデザイナーになる時代 学びの再デザイン 無数の点がつながり、新たな価値を生み出す 未来を実現させるデザイン 情報・コミュニケーションにおける三つの潮流 使いたい気持ちが安全につながるデザイン 「医療・福祉」における優れたデザインとは 災害を通じて真価が試されるデザイン 気候変動時代に対応する、レジリエントな社会デザインへの期待 都市を動かす、地域をつなぐ。社会基盤と都市デザインの新たな潮流 社会教育と学校教育におけるプログラムとデザインの融合	原 研哉 ナカムラ ケンタ 石戸 奈々子 林 千晶 緒方 壽人 暦本 純一 加藤 麻樹 内田 毅彦 五十嵐 太郎 上田 壮一 羽藤 英二 山崎 亮
2016年度	情報社会における人間と技術のcybernetic loop テマヒマを愛でる民主主義の生活美学 仕事は減っていくけれども人は役割を求めている 教育×デザイン デザインに約束された安全性が生む安心感 「医療と健康」におけるグッドデザインとは 地域が蘇る。 社会基盤を維持・更新しながら、都市の新たな価値を創出する 自然の恵と共に生きる。脅威と共に生きる。	ドミニク・チェン 藤崎 圭一郎 ナカムラ ケンタ 石戸 奈々子 加藤 麻樹 内田 毅彦 岩佐 十良 伊藤 香織 上田 壮一
2017年度	つながりが生み出す安心 先端技術は未来の人をデザインするか？ 寛容を導くデザインの可能性 人間と科学の共存する生活価値 社会のエピジェネティクス 揺れる時代に「人間力」はどうするのか？ デザインが発言させる創造性の4領域 働き方改革が生み出す明日のヒーロー	青山 和浩 内田まほろ 伊藤 香織 吉田 龍太郎 ドミニク・チェン 岩佐 十良 藤崎 圭一郎 林 千晶
2018年度	共生系のデザイン 価値は創造される ファンクショナルとエモーショナルを求める社会基盤 関係欲求を持続させるローカリティのデザイン AIという他者との学び合いを最大化する 目に見えないもののデザインが働き方を変える 「問い」と「思い」を力にするテクノロジー	太刀川 英輔 芦沢 啓治 井上 裕太 西田 司 水野 祐 長田 英知 石川 俊祐
2019年度	人の存在と尊厳の維持のため、「取り戻し」「予め備える」ためのデザイン 都市と地方、それぞれの地域社会の実相と未来 発展し続けるテクノロジーと、脈々と受け継がれてきた匠 従来の視点を超えて社会を推進させるビジネスの力	井上 裕太×栃澤 麻利 近藤 ヒデノリ×山出 淳也 佐々木 康晴×廣川 玉枝 林 厚見×ベニントン・マイルス